



■問い合わせ先 自然共生推進課 TEL 055-223-1634

山梨県は、富士山をはじめ、南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などの山々に囲まれ、山に降る雨や雪が森林を潤しながら伏流水となり「天然の水がめ」と呼ばれるほど豊富な水をたたえる名水の地です。

こうした豊かな自然や良質な水は、生産量日本一を誇るミネラルウォーターをはじめ、ブドウやモモなどの美味しい果物や日本酒、富士の介などの養殖魚、長い歴史を持つ織物や手すき和紙などのさまざまな特産品を育むとともに、多様な泉質を持つ温泉や「名水百選」などに選ばれる湧水、渓谷等の観光地としての魅力を創出するなど、多くの恵みをもたらしています。



西沢渓谷七ツ釜五段の滝（山梨市）

手すき和紙芸には豊かで良質な水が必要

西山温泉（早川町）



■問い合わせ先 森林政策課 TEL 055-223-1642


山梨県は、県土の約78%を森林が占める全国有数の森林県です。森林面積全体の約44%を占める人工林の多くが大きく成長し、木材として利用可能な時期を迎える中、ICT等の先端技術を活用し森林施業の生産性・安全性を向上させるスマート林業の推進や、公共建築物等への積極的な県産材の利用などを通じて「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用に取り組んでいます。

また、森林環境税などを活用して荒廃した民有林の間伐を行うなど、山地災害の防止や水源の涵養、地球温暖化の防止といった森林の有する公益的機能が将来にわたって発揮されるようにするための取り組みを進めるほか、キノコ類、タケノコ、ワサビなど特産林産物の産地化や、地域のブランド化に資する県有林の高度活用を推進しています。



手入れが行き届いた人工林

山梨オリジナルの特産林産物 山梨夏っ子きのこ



天に選ばれし、名水の地。山梨。


県では、健全な水循環を守り育てる「育水」という考え方のもと、民間企業や団体などと連携しながら、豊かで良質な水を将来にわたって保全するとともに「名水の地 やまなし」で育まれる豊富な地域資源（観光資源、県産品、自然環境、歴史文化など）と融合し、その魅力を国内外に情報発信するなど、山梨の「水」のブランド力、さらには本県のブランド力向上を目指しています。

ブランドを推進するポスター


FSC® 森林管理認証

県有林は、公有林としては全国に先駆け FSC 森林管理認証を取得しています。この認証は、県有林が環境、社会、経済の各分野において国際的な基準に従い適切に管理されていることを証明するものです。

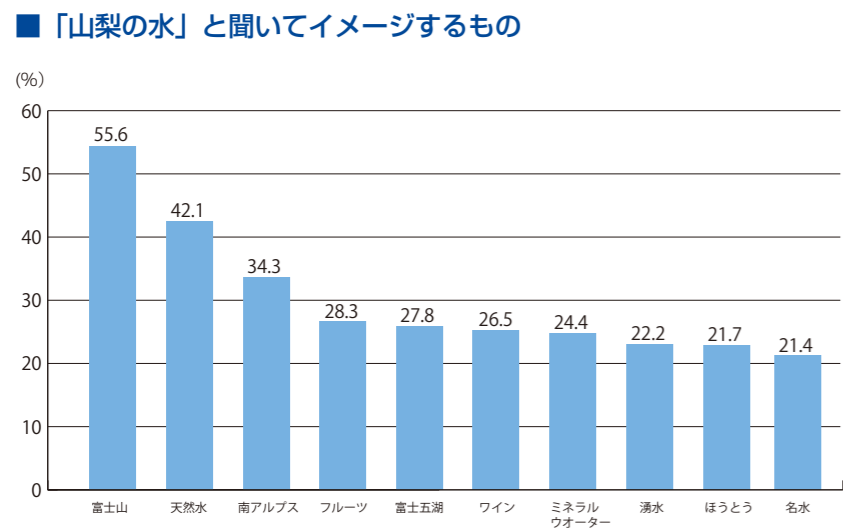
認証面積は 14 万 4 千ヘクタールで国内認証の約 3 分の 1 を占め、全国 1 位。その豊かな森林資源から生産された木材は FSC 認証材として、東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連施設や公共建築物、その他さまざまな商品に活用されています。



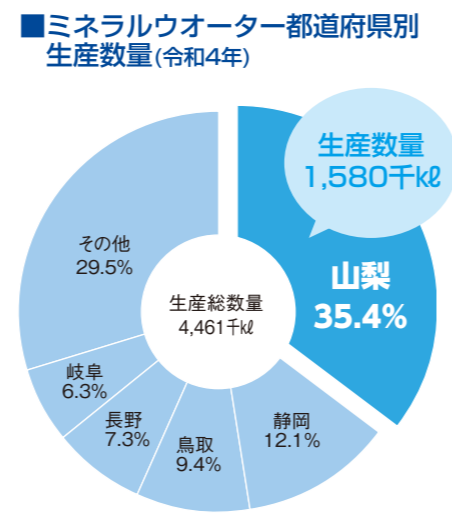
責任ある森林管理のマーク



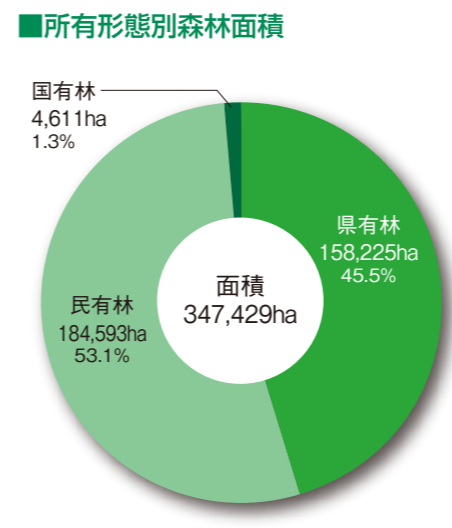
国立競技場スタンド：観客席を覆う大屋根に県産 FSC 認証材（カラマツ）を使用
(提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター)



資料：令和3年度やまなしの「水」に関する意識調査結果（上位10位）※複数回答あり



資料：日本ミネラルウォーター協会統計資料



資料：令和5年度 山梨県林業統計書
(端数処理により内訳の合計は100%にならない)

森林面積と森林比率

山梨	
総面積	446,527ha
森林面積	347,429ha
森林比率	77.8%

人工林面積と人工林比率

山梨	
森林面積	347,429ha
人工林面積	152,953ha
人工林比率	44.0%